

西宮市消防局の管内配置図



NISHINOMIYA CITY FIRE BUREAU



西宮市消防局 消防緊急情報システム

西宮市消防局

〒662-0918 西宮市六湛寺町8-28 西宮市第二庁舎(危機管理センター)

TEL: **0798-26-0119** FAX: **0798-36-2460**

西宮消防署	〒663-8241	西宮市津門大塚町1-32	TEL: 0798-23-0119
北夙川分署	〒662-0073	西宮市松風町4-4	TEL: 0798-74-0119
鳴尾消防署	〒663-8185	西宮市古川町2-12	TEL: 0798-49-0119
浜分署	〒662-0934	西宮市西宮浜3丁目5	TEL: 0798-22-0119
瓦木消防署	〒663-8033	西宮市高木東町15-11	TEL: 0798-63-0119
甲東分署	〒662-0891	西宮市上ヶ原一番町1-64	TEL: 0798-54-0119
北消防署	〒669-1134	西宮市名塩新町7-1	TEL: 0797-61-0119
山口分署	〒651-1412	西宮市山口町下山口4丁目1-20	TEL: 078-904-0119
整備センター	〒662-0934	西宮市西宮浜3丁目5	TEL: 0798-32-0119
消防訓練施設	〒663-8155	西宮市甲子園浜2丁目10	



消防テレホンサービス

● 普段は市民の皆様へ消防に関する情報の案内を行っていますが、火災など災害が発生した時には、市民の皆様にご迷惑をさすことなく、火災があったかをいち早く、音声でお知らせしています。
● 火事などの災害情報、消防局からの一般情報をお知りになりたい際には、消防テレホンサービスをご利用ください。

ツーツー シキョー
0798-22-9999

西宮市消防局

*Google, Google ロゴ, Google Maps, Google マップ, Google マップナビは、Google LLCの商標または登録商標です。

「未来を拓く 文教住宅都市・西宮」を守るために 市民の安全・安心な暮らしを支える 消防緊急情報システム

The Emergency Information System that supports the safe and secure living of the people to protect
“Nishinomiya, a Cultural, Educational and Residential City, moving towards the future”



西宮市消防局 消防緊急情報 システムの特長

多様な 通報者ニーズ への対応

- 統合型位置情報通知装置
- NET119受信システム
- 外国語通訳機能
- GoogleMaps™連携

迅速・正確な 初動対応の強化

- 指令台の4画面運用
- 出動車両運用管理装置/
経路探索装置
- 車両運用端末装置
- 指令情報出力装置
- Eメール指令システム

情報連携の高度化

- 消防用高所カメラ装置
- 現場映像情報伝送装置
- 指揮隊タブレット
- 事案情報共有装置
- 消防OAシステム

大規模災害への対応

- 大規模災害時の
柔軟な指令台運用
- 可搬型指令システム
- リモート指令システム
- 防災情報システム連携

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪と神戸の中間に位置する人口約48万人、面積100.18km²の文教住宅都市です。北側に六甲山系、南側は大阪湾の美しい自然に恵まれ、数多くの文化施設や教育機関を擁しています。工業は酒造業を中心に食品加工業が約8割を占め、食品加工業の出荷額は全国でもトップクラスにあります。市南部の阪神高速道路や北部の中国自動車道など、物流拠点としての条件もよいことから、運輸・通信業も盛んです。

1995年1月に発生した阪神・淡路大震災により市域は甚大な被害を受けましたが、復旧・復興に取組み、安全なまちづくりが進められており、2008年4月には中核市に移行し、名実ともに阪神間の中核都市として、さらなる発展をめざしています。

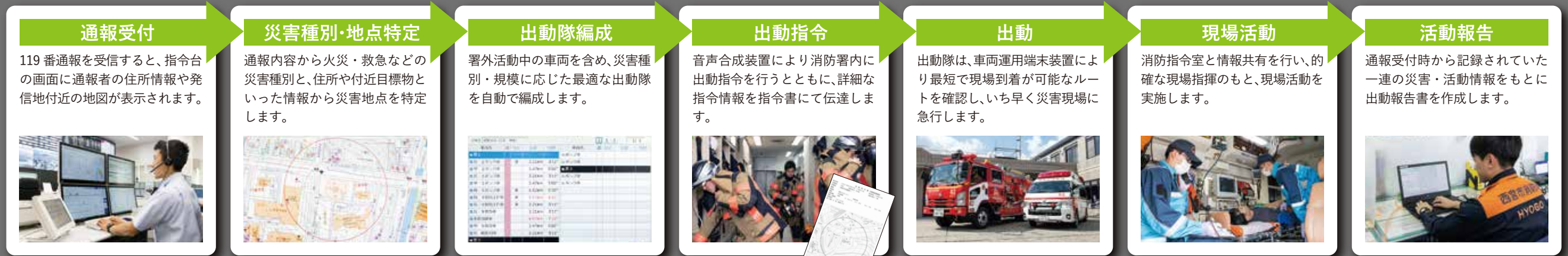
近年、都市構造の変化に伴う災害の複雑化や高齢化の進展等による救急需要の増大、そして今後発生が予想される東南海・南海地震や竜巻、局地的集中豪雨といった自然災害の大規模化など、消防活動を取り巻く環境は大きく変化しています。このような環境の変化に、迅速・的確に対応するために、最新の技術を用いた消防緊急情報システムを整備し、災害活動体制の更なる充実強化を図りました。

西宮市民の皆様の安心・安全な暮らしを24時間365日休むことなく守るために、これらシステムを駆使しながら、万全の体制で業務に取り組んでまいります。

正確な情報確認と迅速な指令による、現場到着までの時間短縮を実現

By grasping accurate information and giving swift orders, we achieved to reduce the arrival time to the incident site

通報から
活動終了
までの
一連の流れ



指令装置

119番通報の受付を行います。通信指令業務に関わる全ての有線、無線を取り扱うとともに、自動出動指定装置、地図等検索装置を収容し、連携して運用を行います。指令装置は4画面フルタッチパネルディスプレイで構成され、キーボード入力やマウス操作以外に電子ペンや手書き文字認識機能を採用し、操作性の向上を図っています。

● 統合型位置情報通知装置

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、本システムにより通報地点を素早く特定できます。災害地点の確認がスムーズに行え、より迅速な現場への出動が可能となります。



● 複数目標物検索機能

通報者が自分の居場所がわからない場合、そこから見える複数の目標物をもとにエリアの絞り込みを行うことができます。通報者から得られる断片的な情報からでも通報場所をすばやく特定できます。



地図用ディスプレイ

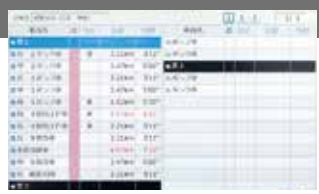
多目的ディスプレイ

自動出動ディスプレイ

受付補助ディスプレイ

● 自動出動指定装置

出動車両運用管理装置で管理している各車両の情報と災害の種類や場所、規模等の情報から、災害現場に近い最適な車両を自動的に選別し、迅速な出動指令を行います。



● 受付補助装置

指令装置で作成した手書きメモ情報を、追加情報として指令書と一緒に印刷したり、画像として直接、車両運用端末装置に送ることができます。現場隊員が必要としている情報を、より正確に伝達することができます。



● NET119受信システム

聴覚障がいや音声・言語機能障がいなどで音声通報が困難な方のために、スマートフォン、携帯電話を活用して、チャット方式による文字での119番通報が可能なシステムです。GPSによる位置情報から通報場所を特定できるなど必要最低限の操作だけで通報内容を伝えることができます。



● GoogleMaps™連携

自動出動指定装置や地図等検索装置と連携させて、通報場所のストリートビューを表示させることができます。曖昧な通報内容の際にも、通報場所の特徴を確認することで、迅速な災害場所の特定が行えます。



*画面はイメージです。

車両運用 端末装置



現場隊員が必要とする指令情報や支援情報(現場地図、現場までの最短ルート、傷病者情報など)をリアルタイムに表示し、効率的な現場活動をサポートします。

指令情報 出力装置



各署所に設置し、事案情報や車両運用状況などを表示します。出動指令を受信すると、災害点付近の地図や出動する車両情報を表示します。

Eメール 指令システム



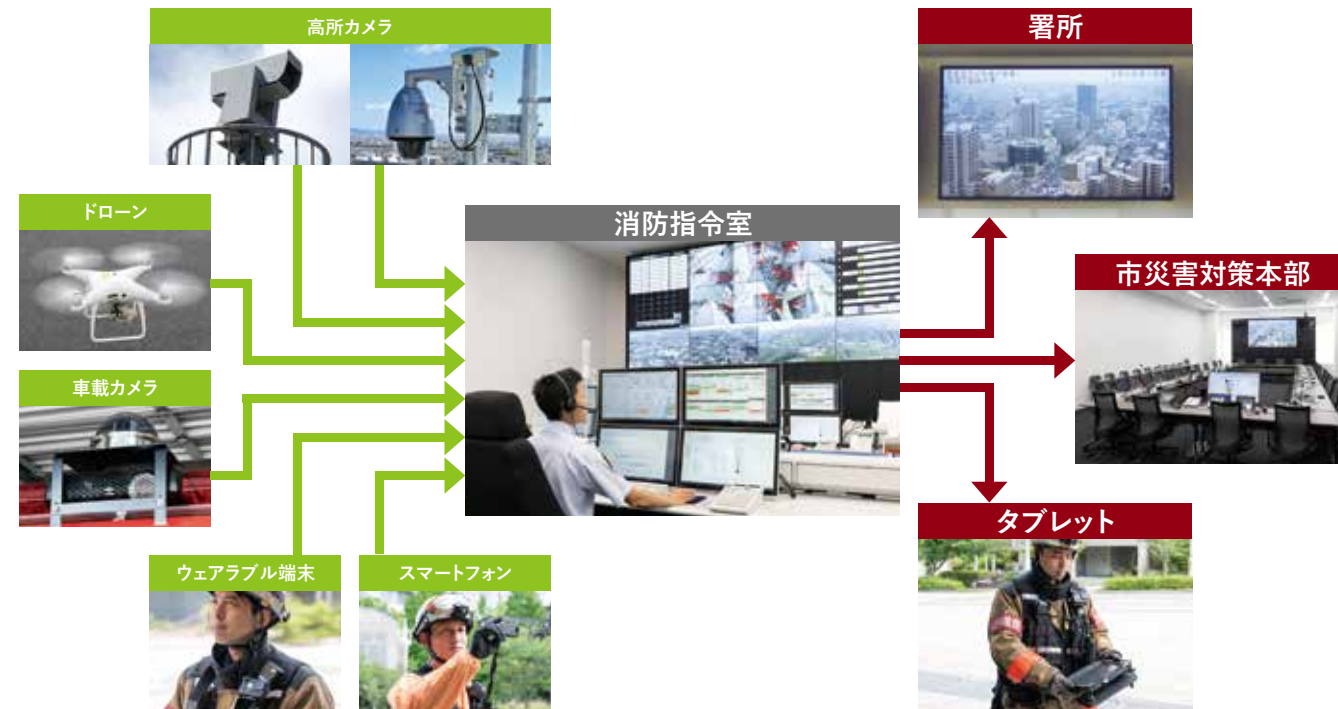
署外活動中の消防職員や消防団員が所持している携帯電話等に電子メールで指令情報を一斉配信することで、素早い情報伝達が行えます。

刻々と変化する現場状況をリアルタイムに共有しながら、迅速・的確な現場活動をサポート

By sharing the real-time status of the ever-changing incident site, this system supports swift and accurate on-site emergency activities

高所カメラ/ 現場映像情報 伝送装置

管内に設置している高所カメラや車載カメラ、ドローンや災害現場隊員が装備しているウェアラブル端末などで撮影した各種映像を、リアルタイムに消防指令室へ送信し、関係機関へ配信を行います。各署所や現場のタブレットのほかに、市の災害対策本部にも配信でき、大規模災害時に関係機関と情報の共有を図りながら、適切な意思決定と迅速な災害対応にあたります。



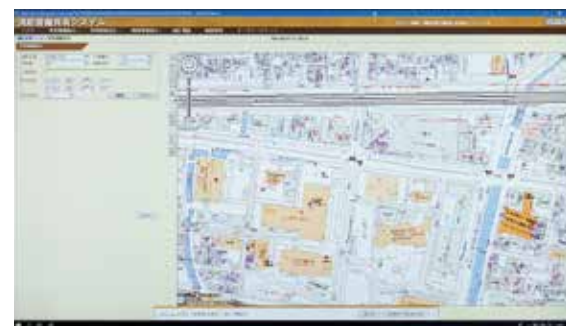
指揮隊 タブレット

署外活動中など、時と場所を選ばずに、指令室や他の指揮隊タブレットとの情報共有ができる携帯型の情報端末です。災害現場の状況を時系列に入力、確認したり、その他にも過去の災害事案情報や道路、水利などの様々な支援情報を入力、確認することが可能です。



事案情報 共有装置

活動中の災害事案や車両運用状況、病院状況一覧といった最新情報を各署で検索、閲覧することができます。消防指令室と署所で情報共有を図りながら、連携して迅速・的確な災害活動にあたります。



大規模災害や広域災害時にも柔軟、確実に対応できる消防体制の確立

The establishment of the system for firefighting and emergency services has enabled us to respond flexibly and reliably at times of large-scale and wide-area disasters

指令台 モード変更 (大規模災害モード)

大規模災害時など通報が集中する状況下においては、指令台のモード切替により指令台を増強して対応することができます。迅速・的確に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。

通常運用時

通常4画面(自動、地図、多目的、受付補助)のディスプレイを活用して、迅速かつ正確な指令管制業務を行います。



大規模災害時

大地震や台風など大規模災害により通報が輻射した場合、指令台を分割して運用を行います。



可搬型 指令システム

万一、消防局が被災して庁舎やインフラの一部が使用不能となった場合に、北消防署へ可搬型指令装置を運搬、再設置することで継続して通信指令業務を行うことができます。移設先でも、消防指令室同様に119番通報受信、災害点の特定、出動隊編成、出動指令、無線交信といった一連の業務対応が可能です。



リモート 指令システム



消防局が被災し、消防指令室に人が立ち入れない状態となった場合でも、西宮消防署に設置している端末から指令台へ接続し、遠隔操作をすることで通信指令業務を行うことができます。

防災情報 システム連携

大規模災害発生時に、消防緊急情報システムで登録した通報情報(事案情報、対応要請情報等)を地図(GIS)上で一元的に表示、その情報は市の災害対策本部とリアルタイムに共有することができます。消防指令室と市の災害対策本部で連携しながら、災害活動にあたります。

